

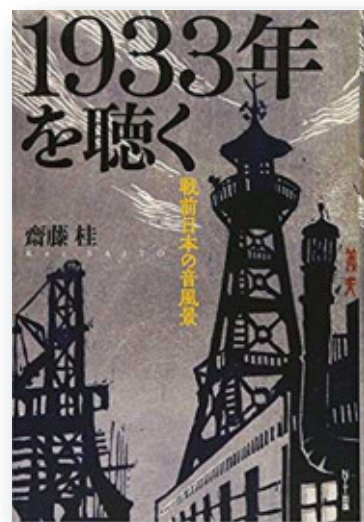


芸能と任侠思想 —音と音楽から考える日本の近代—

近代の日本文化の中で、「任侠思想」は常に両義的に扱われてきました。

たとえば、近世の『水滸伝』受容や、やくざものを主役にした歌舞伎の演目の人気は、近代以降は社会秩序や倫理を逸脱するものとして克服すべき対象とされました。しかし一方ではそこに見られる忠義や自己犠牲、人情といった要素が近代的な個人主義に対置され、むしろ「日本らしい」と評価されることもありました。こうした任侠思想の両義性は、今日に至るまで、映画や音楽、文学や漫画など様々な大衆文化の源泉であり続けています。

今回の講座では、「任侠思想」と芸能・音楽との関わりを辿ることで、いわば裏側から日本文化の近代化について考えていきたいと思います。



『1933年を聴く』
齋藤 桂 (NTT出版、2017年)

3月23日(土) 午後4時30分～6時

定員：30人(先着制) 受講料：500円



講師

齋藤 桂

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込開始 ▶ 2月19日(火) 午前9時30分～

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル 3階

文化・教養	明治 150 年連続講座 “ <i>Alternative Narratives</i> ” 日本近代をめぐる視座 ⑥ 芸能と任侠思想——音と音楽から考える日本の近代	D185 9500
-------	---	--------------

講座趣旨	
明治維新以来 150 年の日本の近代化の歴史は、どのように語られてきたのでしょうか。「明治維新」天皇の下での中央集権国家の確立。「文明開化」日本社会の西洋化及び工業と軍隊の近代化。「帝国主義」戦争・勝利・敗戦。「民主主義」平和的かつ民主的社会としての日本の再出発。こうした歴史叙述がなされてきました。しかし、そこには別のストーリーもあったのではないのでしょうか。5 回の連続講座では、日本の近代をより幅広く複合的な文脈から解き明かしてきました。 今回の 6 回目は、番外編としてお送りいたします。	

講座開催概要	
日 程	平成 31 年3月 23 日 土曜日
時 間	午後4時 30 分～6時
定 員	30 人(先着制)
回 数	1回
受講料	500 円
教 材	レジュメ資料ほか ※講義スライドと配布資料は、異なる場合がございます。
難易度	★★☆
会 場	三鷹ネットワーク大学
申し込み	WEB FAX 郵送 窓口
	申込受付: 2月 19 日(火) 午前9時 30 分～

	芸能と任侠思想——音と音楽から考える日本の近代
3月23日	近代の日本文化の中で、「任侠思想」は常に両義的に扱われてきました。 たとえば、近世の『水滸伝』受容や、やくざものを主役にした歌舞伎の演目の人気は、近代以降は社会秩序や倫理を逸脱するものとして克服すべき対象とされました。しかし一方ではそこに見られる忠義や自己犠牲、人情といった要素が近代的な個人主義に対置され、むしろ「日本らしい」と評価されることもあり、また。こうした任侠思想の両義性は、今日に至るまで、映画や音楽、文学や漫画など様々な大衆文化の源泉であり続けています。 今回の講座では、「任侠思想」と芸能・音楽との関わりを辿ることで、いわば裏側から日本文化の近代化について考えていきたいと思います。

講師紹介（敬称略）
齋藤 桂（さいとう けい）京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター 講師 1980 年生まれ。京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター専任講師。専門は音楽学・日本音楽史。 2010 年大阪大学文学研究科博士後期課程文化表現論専攻修了、博士(文学・大阪大学)。京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター非常勤講師、大阪芸術大学非常勤講師、日本学術振興会特別研究員 PD、日本学術振興会二国間交流事業特定国派遣研究者としてヘルシンキ芸術大学シベリウス音楽院博士研究員、大阪大学文学研究科助教を経て、18 年より現職。 著書に、『〈裏〉日本音楽史——異形の近代』（2014、春秋社）、『1933 年を聴く——戦前日本の音風景』（2017、NTT 出版）がある。

三鷹ネットワーク大学 受講者登録用紙

*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。インターネットでもご登録ができます。

※太枠内の項目は必須事項です。

登録日： 平成 年 月 日

お 名 前	フリガナ	性 別	男・女	生年 月 日	西暦 月 年 日
受講者区分 ※該当する番号を1つ選んで○をつけてください。	(1)【市 民】三鷹市にお住まいの方(学生は除く) (2)【市民(在勤・在学)】三鷹市外にお住まいで、三鷹市内の職場・学校に通われている方 (3)【市民学生】三鷹市にお住まいの学生の方 (4)【会 員】勤務先、学校等が三鷹ネットワーク大学の正会員または賛助会員の方 (5)【一 般】三鷹市外にお住まいの方				

Eメール					
緊急連絡先	携帯電話番号：	携帯Eメール：			

《郵便物の送付先※振込用紙や受講証等のお送り先を、下記から選んでください。》

郵便物送付先	ご 自 宅	勤 務 先
--------	-------	-------

《ご自宅》

ご 住 所	〒 —		
電話番号		F A X	

《勤務先・学校名等》

勤務先名称	※学生の場合は学校名と学部・学科名		
勤 務 先 部 署 名	※学生の場合は学籍番号	役職名	
ご 住 所	〒 —		
電話番号		F A X	

《ご職業等》※職種・業種について該当するものにそれぞれ○をつけてください。

勤務先業種	①官公庁 ②団体 ③教育 ④宗教 ⑤医療 ⑥建設 ⑦金融・保険 ⑧製造 ⑨運輸・通信 ⑩農林水産 ⑪電気・水道 ⑫不動産 ⑬卸・小売 ⑭飲食 ⑮IT・ソフト ⑯その他
職業(職種)	①経営者 ②役員・管理職 ③一般事務 ④営業 ⑤販売・サービス ⑥生産管理 ⑦研究開発 ⑧専門職(医師・弁護士等) ⑨教職 ⑩自由業 ⑪専業主婦 ⑫無職 ⑬その他

《三鷹ネットワーク大学からの情報提供ご希望の有無》

情報提供	希望する	希望しない
------	------	-------

《興味をお持ちの分野》※3つまでお選びください。

1経営・経済学 2歴史学 3法学 4文学 5工学 6教育学 7福祉・医療 8介護・看護 9コンピューターサイエンス 10アジア・アフリカ系言語 11 総合政策 12 国際関係論 13 政治学 14 天文学 15 農学 16 臨床心理学 17 カウンセリング学 18 社会心理学 19 国際コミュニケーション学 20 スポーツ医学 21 マーケティング学 22 人間環境学 23 キャリアデザイン等 24 社会福祉学 25 情報科学 26 情報コミュニケーション学 27 グローバルビジネス学 28 宗教学 29 平和学 30 生物学 31 化学 32 数学 33 教養学 34 建築学 35 その他
--

◆受講者登録について *すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、受講者登録の手続きが必要です。講座のお申し込みをする前に（講座のお申し込みと同時に）、必ず受講者登録を済ませてください。ご登録をしていただくことにより、今後お申し込みされる際に、ご住所等、個人情報を記入する手間がなくなります。またインターネットからのお申し込みも可能となります。

◆個人情報について

ご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

D95

明治 150 年連続講座 “Alternative Narratives” 日本近代をめぐる視座 ⑥

芸能と任侠思想——音と音楽から考える日本の近代

申込用紙

受講者 番号	E から始まる数字 6 ケタをご記入ください。 E	申込日	平成 30 年 月 日
名前	フリガナ	電話番号	

※申込欄に○をご記入ください。

申込欄	講座タイトル・講師（敬称略）・講座日程	受講料	領収印
	明治 150 年連続講座 ⑥ 芸能と任侠思想——音と音楽から考える日本の近代 講師：齋藤 桂（さいとう けい） 京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター 講師 日程：平成 31 年 3 月 23 日 土曜日 午後 4 時 30 分～6 時 [D1859500]	500 円	文化・教養

※ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422（40）0313 ファックス：0422（40）0314

[郵送での申込]〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル 3 階 三鷹ネットワーク大学事務局

この講座をどこでお知りになりましたか？（該当するものに○を 1 つだけご記入ください）

- | | | |
|---------------------|----------------|-----------|
| 1. 三鷹ネットワーク大学ホームページ | 5. 学内ポスター・チラシ | 9. その他（ ） |
| 2. ダイレクトメール | 6. 講師・教職員よりの紹介 | |
| 3. 三鷹市広報 | 7. 友人・知人よりの紹介 | |
| 4. ポスター／チラシ | 8. 新聞記事等 | |

【ご受講について】

●受講料のお支払いについて

受講予定者の方には、受講料のお支払い方法についてのご案内をお送りします。郵便振替、現金等、書類に記載されている方法で、お支払いいただきますようお願いいたします。受講予定者としてご通知した方からの受講料のお支払いを事務局が確認できた時点で、受講が確定します。期日までに受講料をお支払いいただけない場合には、お申し込みを取り消す場合がありますのでご注意ください。※お支払い方法は、講座によって異なる場合がありますので、詳しくはお送りする書類をご確認ください。

●受講のキャンセルについて

- 講座申し込み後にお客様の事情により受講をキャンセルする場合は、至急事務局まで電話でご連絡ください。
- 一度申し込んだ講座を別の講座に変更することはできません。申し込み済みの講座のキャンセルをしてから、再度希望の講座にお申し込みください。ただし、講座申込期間内のみ受け付けます。
- 受講料入金後のキャンセルについて
 - 講座前日（連続講座の場合は第一回講座前日）までに申し出があった場合
キャンセルの申し出があった日から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、全額返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は 500 円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料 500 円以下の講座については返金はいたしません。
 - 講座当日（連続講座の場合は第一回講座当日）、講座開始時刻前に申し出があった場合
講座当日（連続講座の場合は第一回講座当日）から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、500 円の手数料を差し引いた残額を返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は 500 円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料 500 円以下の講座については返金はいたしません。
 - 1, 2 以外のキャンセルの場合
受講料の返金はいたしません。

●受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。受講資格を他の人に譲渡することはできません。